

シリーズ 市政の今 特別編

次期総合計画策定に向けて⑤

これまでの歩みを振り返る 「活力」の視点から

次期総合計画策定までを、年間を通してお伝えする「シリーズ 市政の今」特別編。今回は現在の総合計画の中から「活力あるまちづくり」の分野にスポットを当てて、その進捗状況などを振り返ります。



クルーズ客船チャイニーズ・タイムジャンで本市を訪れた大連市中日友好協会交流団



由良川橋りょうを走る丹後あかまつ号



建設中の西舞鶴道路を見学する城北中の生徒



にぎわいをみせる赤れんがパーク



春のまいづる就職フェア(昨年の様子)



地理的表示(GI)制度に登録された万願寺甘とうの出荷選定作業



舞鶴青年会議所 理事長 江守錬太郎 さん

総合計画審議会委員に聞きました

舞鶴青年会議所は「明るい豊かな社会の実現」を目的に今年で設立62年を迎えます。私は平成20年に入会し、30年度からは理事長を務めており、現在は36人の会員とともに活動しています。

地元の高校を卒業後は、一旦は舞鶴を離れたのですが、もともと地元舞鶴に帰ってくるつもりでした。ただ、進学などで市外に出た人は、市長も言われていましたが地元にある仕事をあまり知られていないように思います。そのため、舞鶴青年会議所では子ども達の愛郷心を育てる「舞鶴かるた大会」や子ども達が地元にある会社の仕事を体験する「わくわくワーク」といった事業を行い、活力あるまちづくり、人づくりを行う活動を行っています。今後もさまざまな活動を通じて、地元舞鶴を元気あふれる元気なまちにできればと考えています。

また、総合計画審議会委員としても、活力あるまちづくりを進めていくため、積極的に提言などを行っていきたくと考えています。

◆活力あるまちづくり

本市は、高速道路ネットワーク網の整備や関西地域唯一の日本海側の国際玄関口である「京都舞鶴港」など、陸・海の要所といえる環境資源にも恵まれ、大きく飛躍する可能性を秘めています。若者が将来に夢を持つようになるため、商工業基盤・地域経済の安定・活性化、農林水産業・観光関連サービスに付加価値を付ける「活力あるまちづくり」を進めています。

◆総合計画に基づいたこれまでの取り組み、進捗状況

京都舞鶴港を活かした

人流・物流の拡大と港湾整備の促進
府と連携し、国際物流ターミナル・舞鶴国際ふ頭と西港第2ふ頭を中心に、物流機能の強化や国際フェリーの直行航路便の開設、外航クルーズ客船の入港に向けたプロモーションを実施しています。
今年、5月に友好都市・大連市(中国)発

整備新幹線の誘致

昨年8月に京都府北部5市2町で結成した「山陰新幹線京都府北部ルート誘致・鉄道高速化整備促進同盟会」では、京都府北部地域が持つ強みをアピールし「山陰新幹線京都府北部ルートの誘致」と「地域活性化に必要な在来線の充実・強化」を目指して誘致活動に取り組んでいます。

都市基盤を支える道路網の整備

上安から京田地区を結ぶ国道27号西舞鶴道路は、西舞鶴市街地の交通混雑緩和と交通安全性向上、高速道路へのアクセス強化が期待される道路で現在、用地買収と工事が進められています。また、京都舞鶴港からの物流強化や観光アクセスの向上を目的とした、臨港道路上安久線の整備は、昨年度から調査・測量などを実施。国と連携し、事業を進めます。
また、東西市街地を最短距離で結ぶ府道小倉西舞鶴線では、渋滞解消と交通の安全性向上のため、白鳥トンネル工区と倉谷工区の4車線化を府と連携し、進めているところです。

地域経済の安定と活性化

有効求人倍率が好調に推移する中で、舞鶴で働きたい人の支援強化と、雇用人材の確保のため「ジョブ・サポートまいづる」を拠点に、就業支援や職業紹介相談、就職マッチング機能を充実させています。加えて、年々早期化する大学生の就職活動に対応し、舞鶴で就職してもらうため、企業研究会・インターンシップ説明会・就職フェアを充実させ、学生や市内在住の家族の皆さんに対して、地元就職につながる情報を提供するなど、若者の定住促進に向けた取り組みを展開しています。

着のクルーズ客船「チャイニーズタイムジャン」の入港が実現したほか、過去最大級となる16万少級で、4,000人以上の乗客が乗船できる「オペレーション・オブ・ザ・シーズ」が7月以降に計3回入港予定。また7〜8月には、おなじみとなったコスタクルーズ社による日本海周遊クルーズが11回運航されるなど、日本海側のクルーズ旅の発着港として定着してきました。

広域交通網の整備促進

今年3月に実施されたJRのダイヤ改正では、京都市行き最終の特急列車の発車時刻を49分繰り下げ、観光客やビジネススマンが市内に長く滞在できるダイヤの実現に取り組んでいます。

また、「丹後あかまつ号」などの観光列車が人気の京都丹後鉄道では、西舞鶴駅の日中の発車時刻を毎時37分に統一するパターンダイヤを導入し、身近で使いやすい「地域の鉄道」を目指しています。今後は、交通系ICカードの導入の実現を目指し、さらなる交通ネットワークの利便性向上に取り組めます。

豊かで魅力ある地域資源を活かした観光振興

東地区にある日本の近代化を支えた旧海軍施設などの文化遺産は、「日本遺産」や「日本の20世紀遺産20選」に選定されています。この2つのブランド力を活かした付加価値の創造、生産者の思いや豊かな地域特性を付加し、特産品や加工品を売り出す6次産業化を推進。担い手不足解消のため新規就農など担い手の育成、ほ場整備、農地集積、有害鳥獣対策などの環境整備を行うことで地域農業の支援を行っています。また、人工林の間伐や里山の環境改善に取り組んでいます。

農林水産業の振興

水産業では、「京都府海の民学舎」との連携や新規就業者の漁船取得への支援で、担い手を育成するとともに、稚貝の放流など、つくり育てる漁業への支援や漁場の環境保全などの推進、水産物の供給基盤となる漁港施設や海岸保全施設の整備、長寿命化に取り組んでいます。

また、西地区の田辺城や寺社仏閣などの古い建物をはじめとする豊かで魅力あるまちの資源を活用し、まちなか回遊につなげ、にぎわいを創出することで、さらなる交流人口の増加と観光消費の拡大を目指します。